

投票率は63.08%で、県平均の61.63%を1.45ポイント上回りましたが、前回(3年前)の参議院議員通常選挙に比べては、1.13ポイントのダウンとなりました。引き続き投票率のアップに向けた取り組みを進めて行きたいと考えています。

「までいな休日」推進事業

8月6、7日及び8月20日から22日まで、飯樋4区で「までいな休日」推進事業を実施しました。この事業は、都市住民との交流を図ることで、地域の活性化を図ることを目的に実施しています。秋には、佐須及び小宮行政区でも実施する予定です。

飯館村総合防災訓練

9月5日、草野小学校グラウンドをメイン会場に実施いたしました。今年も、昨年同様、「発災型対応避難訓練」を中心に実施しました。

飯館村消防団秋季検閲式

村消防団による秋季検閲式が、9月5日に行われました。当日は消防団員、女性消防隊など約200人が参加し、防火意識を新たにしました。

国民健康保険税

平成22年度の国民健康保険税は、6月定例議会で承認された新たな税率で課税しました。

国保での医療分の世帯数が1155世帯、税額が1億635万9000円で、前年度より3世帯の増、税額では604万1000円の増となっています。

また、後期高齢者支援分の世帯数は国保世帯数と同数の1155世帯、税額が、4850万8000円で、前年度より1949万6800円の減となっています。

国保での医療分の世帯数のうち介護分の世帯数が802世帯、税額が2466万21000円で、前年度より5世帯の増、税額で66万5000円の減となっています。

医療費の動向に注視行きたいと考えていますし、医療費の抑制には一人ひとりの「健康維持」が基本でありますので、今後とも健康づくりに努力して行きたいと考えています。

ごみ処理対策

クリアセンター最終処分場の埋立処分について引き続き平成37年5月までの15年間、不燃物の埋立

処分を行う届出を相双地方振興局に提出しました。今後も最終処分場の延命化に向け、ごみの減量化と分別の徹底を図ります。

交通安全運動

交通事故が、依然、多発傾向にあるため引き続き関係機関と連携しながら交通安全の啓発運動等を実施して行きます。

防犯関係

村内の犯罪発生の状況は、空き巣、工事場狙い、恐喝、器物損壊など10件発生しています。

村では全戸一斉防犯指導・診断のほか、地域の防犯パトロールや防犯指導等を実施し、青少年の健全育成や地域の防犯に積極的に取り組んでいます。少しでも住民の地域安全の意識の高揚を図りたいと考えています。

総合検診

6月21日から28日までの8日間、国保加入者、社会保険の被扶養者、後期高齢者を対象に「特定健康診査・がん検診等」を実施しました。実受診者数は、1504人で、国保の特定健康診受診者は、932人と昨年より85人増、率で4.9%の伸びとなりました。

いたてまでいい

クーポン交付式

6月24日、クーポン交付式を実施しました。交付者は135世帯、171人でした。

「障害者多機能型施設 ワークスペース・いたて」

7月1日に開所式が行われ、7月15日から、サービスが開始されています。村として初めての障害者の施設として、施設の活用が期待されます。

福島県安心子ども基金

福島県安心子ども基金は、「大きなお世話志隊」が主体となって進めている交流イベントに活用されており、3回連続企画イベントの準備を進めているところです。

この基金は、保育所、幼稚園にAEDを配置する事業にも活用されました。

今後も、「福島県安心子ども基金」を活用した様々な事業を実施し、子育てを支援して行きます。

「子育て支援センター」改修

保健センターを子育て支援センターとして整備する計画について、設計と建築確認申請が終了し、現在、改修工事の着手に向け準備を進めているところです。

農作物の状況

水稲は、7月以降の天候の回復で、例年より一週間程度生育状況が早まりました。

現在のところイモチ病の発生もあまり見られず、まずまずの生育状況にあると思われまます。

今後の推移を見守り秋の収穫に期待するところです。

戸別所得補償モデル事業

事業への取り組み件数は、個人が385件、集落営農組織が13組合で、交付対象面積は、個人329.6畝、交付金額4944万円、同様に集落営農の交付対象面積が310.7畝で、交付金額は4660万円となる見込みです。

全体の交付対象面積は640.3畝、交付金額は9604万円となる見込みです。

転作物物助成事業

水田利活用自給力向上事業の取り組み状況について、取り組み件数は全体で1520件、交付対象の転作面積は409畝で、交付金額は1億4748万円となる見込みです。

野菜・花卉の状況

栽培当初の低温の影響で特にブロッコリーについて、B級とC級

品が半分以上を占めたため、生産者にとっては非常に厳しい結果となりました。

インゲン、ほうれん草は、品質の低下等はあるものの、高単価での取引で推移しています。

また、キュウリ等は8月後半以降単価が回復し、出荷数量とともに期待がもてる状況です。

花卉は、トルコギキョウ、リンドウについて開花が促進された一方で、リンドウは猛暑の影響で開花が抑制され、8月上旬にはほとんど出荷されない状況でした。

葉たばこは、現時点においての本年見込収量は10㌦当たり230㌦と、昨年より34㌦程度増える見込みとなっています。

和牛の仔牛のセリ状況

現在のところ本宮市場に毎月約50頭以上の仔牛を出荷し、価格は昨年と比べて平均で約3万円高くなっています。平均価格が約40万円程度で推移していますので、更に畜産農家の所得向上を図っていく考えです。

飯館村農業後継者

定着促進事業 今年度から新たに新規就農者に農業用機械、施設及び資材の導入

に要する経費の一部について上限300万を助成する事業に、現在のところ8名程の要望があり、4人について助成を決定しました。意欲ある若者たちに期待しています。

耕作放棄地対策

村耕作放棄地対策協議会で、「飯館村耕作放棄地解消計画」を設定し、村として今年度中に耕作放棄地対策に係る基本方針を策定する予定です。

第3期中山間地域等 直接支払事業

地区説明会を行い、制度の周知を図り、各集落において対象農地の検討及び見直しを行った結果、19集落が制度に取り組み意向で、9月末までに集落協定書を村に提出していただくことになりました。

また、7月26日に開かれた全体打合せでは、各集落の取り組みをハード、ソフトの両面から支援するため、10項目の支援事業を実施することが決定されています。

農業振興地域整備計画

第3期中山間地域等直接支払制度の見直しにより、協議会を開催して計画を検討しました。今回、新たに農用地区域編入に

132筆21.2ヘクタールの編入を了とする協議会の答申に、県の同意も計画通り承認の見込みとなっています。

「までいな家」運営状況

今年4月のオープン以来、連日村内外から見学者が訪れ、8月末現在で1641人が施設を見学、うち76人が体験宿泊しました。

また、7月31日には「までいな家」の北側広場を会場に、環境をテーマとした「エコビレッジフェスティバル」を開催し、環境とまでいな暮らしを考えるさまざまなブースを設けることで夏まつりの新たなスタイルを提案したところです。

はやま湖森と湖まつり

7月25日に「はやま湖森と湖まつり」が開催され、約2600人の来場者でにぎわいました。

目黒区との交流

7月から8月にかけて、私立目黒学院中学校と同高校の教育旅行の受け入れを行いました。また、7月に目黒区で開催された「第47回目黒区商工祭 目黒リバーサイドフェスティバル」に村として参加し、飯館牛串焼きや新鮮野菜、どぶろくなどの展示販売を行いました。